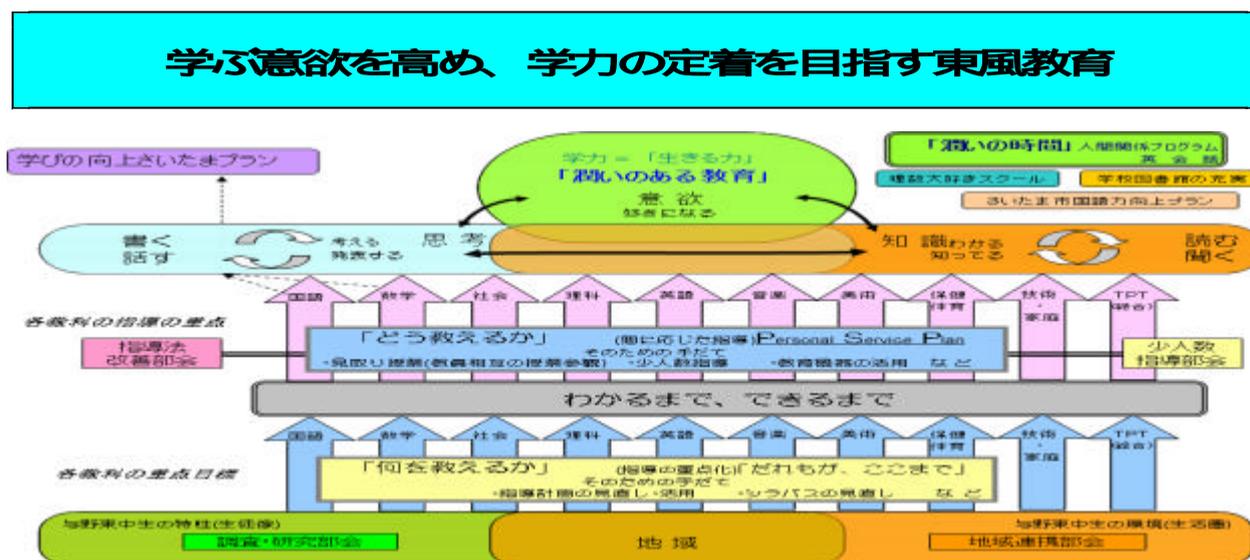


社会科（歴史的分野） 学習指導案

- 1 単元名 「明治維新」「身近な地域の歴史調査」
【郷土の殖産興業 秩父事件 与野の文明開化】

- 2 本校の研究課題との関わり



本校が掲げる研究課題「基礎学力を定着させ、学習意欲を高める指導法の研究」に迫るため、社会科でも「基礎学力」、「学習意欲」の2点に重点をおき、日々の授業を工夫し、展開している。

「基礎学力定着」の具体策として、まず基本的な事象名・語句の理解・定着、歴史の流れ・因果関係の理解のために、毎時間授業の最初に「5問テスト」を行い、前時の復習・知識の定着を図っている。また、最低限身に付けて欲しいこと（例えば、国名・国の位置・県庁所在地・時代区分・年表・・・など）を明確にし、こまめに小テストを行っている。本校の学習指導目標「できるまで教える。わかるまで見届ける」を具現化し、全員ができるまでテストを繰り返している。さらに、ノート作成を通して学習習慣の確立を図っている。ノートの見開き2ページをあけると、その時間に学習した内容が立体的に飛び込んでくるように充実させている。自分なりの工夫を求め、一人ひとりオリジナルなものになるよう指導している。生徒がノートに愛着を持ち、ノート作成に時間をかけることで、必然的に家庭における社会科の学習時間を確保し、予習・復習をさせているのである。

さらに基礎学力として、自ら学ぼうとする力や課題を見付け様々な方法を使って、解決が図れる力の育成が大事であると考えている。目の前にある課題を、逃げずにどのように解決していくのか。様々な社会的事象から、何が問題で自分はどうしなければいけないのか。この、生徒が生きていく上で最も大事な力を社会科でも身に付けられるよう指導している。まずは、毎時間生徒に興味・関心を持たせるための工夫・努力が必要であり、私は実物、本物にこだわり出来るだけリアルな映像・資料を生徒に提供できるよう努めている。事件現場を訪ねて取材をしたり、博物館にお願いして生徒が手で触れられるものを借りてきたりすることで、生徒にインパクトを強く与え、授業の食い付きが全く違ってくる。その中で「もっと知りたい。調べてみたい。」という欲求を呼び起こしている。

教師側が様々な工夫をすることで、もう一つの研究テーマ、生徒の「学習意欲も高まる」と考えて

いる。そして、課題解決のための調べ学習も教師側が教え込む必要がある。探究活動を通じて調べ方・まとめ方・発表の仕方など、技能の基礎を再確認し、こまめに指導していく。図書館やインターネットの資料を書き写して終わりの生徒や、自分の考えを上手く表現できず、何も書けない生徒が増えつつあるのも事実である。年間指導計画の中で課題解決学習の時間を何回か位置付け、その中で、課題の見付け方・課題解決の方法や自分の考えの表現の仕方など、筋道たててじっくり教え込むことも重要だと考えている。生徒の課題解決・出来たときの喜びが次への学習のステップになり、何度も積み重ねることで自ら学ぼうとする力・課題解決能力が向上する。また、生徒一人ひとりを広い観点で評価できるようになり、アドバイスするなど生徒とのコミュニケーション力が豊かな授業になる。

今まで述べてきた、「基礎学力」の考え方を実践し、生徒も学習の喜びを感じられれば、「学習意欲」は必然的に高まってくると考えている。

さらに、又、以前ほど生徒同士でわからない所を教え合っている姿が見られなくなった。質問・疑問を何が何でも教師や大人に持ってくる傾向にある。本単元の明治時代も例外ではなく基礎学力を定着させるための授業を展開する。学ぶ意欲を持たせ、学力を高めるには、教え合い・学び合いの姿勢もとても大切だと考える。自分の得意分野を活かし、生徒同士の学びの輪ができることを期待し、授業実践を行っている。本時ではこの「学び合い」を授業形態のメインに置き、明治時代の背景・特徴など、郷土の歴史を通じて内容に迫るものである。

3 指導観

「社会科好きの生徒を育てるために」。常日頃考えながら授業を行っている。特に、私個人として、昨年から「郷土の史跡・史料を活用した授業の展開」を心がけ日々教材研究に励んでいる。昨年1年生の歴史では、さいたま市の貝塚分布の様子から始まり、さきたま古墳群、高麗の渡来人、武蔵国府・国分寺、鎌倉街道上道と畠山重忠、源平合戦と武蔵国の武士（畠山・熊谷直実）の活躍など、郷土埼玉県の地域教材を通史の中に意図的に位置付け、授業を展開した。地域の歴史を深く掘り下げ、それを基に通史に戻りその時代の特徴をおさえたりもした。地域の史料を集めるに当たり、実際に現地へ赴き、ビデオ・デジカメで映像を映してきたり、郷土資料館、博物館、近所の公民館・家々を訪ね、地元ならではの情報や資料を手に入れたり、自分の足で教材をかせぐ重要性を感じている。そうすることで、生きた声で生徒に語りかけることができ、授業に深みが増してくる。生徒も自分の住んでいる身近な地域の歴史ということで、興味をもって学習に取り組んでいるようである。

今回扱う明治時代も郷土の史跡・史料を活用し、授業を展開する。ここで本単元に入る前に行ったレディネス調査の結果の一部を掲載する。中学2年生2クラス分、計76名の回答である。

Q1, あなたは社会が好きですか？

1 大変好き	2 好き	3 あまり好きでない	4 嫌い
16名(21%)	27名(36%)	31名(41%)	2名(2%)

Q2, あなたが住んでいる与野・さいたま市・埼玉県の歴史に興味がありますか？

1 大変ある	2 ある	3 あまりない	4 ない
7名(9%)	46名(61%)	21名(28%)	2名(2%)

Q3, 与野・さいたま市・埼玉県の歴史を積極的に学習したいですか？

1 大変したい	2 したい	3 あまりしたくない	4 したくない
7名(9%)	40名(53%)	27名(36%)	2名(2%)

Q4, 今までに埼玉県の歴史について数々学習してきました。では、与野・さいたま市の

歴史を知っていますか。

1 よく知っている 2 知っている 3 あまり知らない 4 知らない

0名(0%) 19名(25%) 40名(53%) 17名(22%)

Q5, 小学校の歴史学習を思い出してみてください。明治時代の歴史は好きですか？

1 大変好き 2 好き 3 あまり好きでない 4 嫌い

6名(8%) 39名(52%) 29名(38%) 2名(2%)

Q6, 明治時代の出来事で知っていることを書いてください。

明治維新がおこった 明治天皇 西郷隆盛 文明開化 憲法が作られた 伊藤博文
戦争がおこった 生活が変わった

Q2, Q3から生徒が住んでいる与野・さいたま市・埼玉県の歴史(郷土史)に興味がある生徒が70%、積極的に学習したい生徒が62%という結果が出た。やはり身近な歴史ということで生徒の知的好奇心も高まっているようである。しかし、Q4からも埼玉県の歴史は数多く取り上げているが、与野・さいたま市の歴史に関しては、知っている生徒が25%、知らない生徒が75%とあまり理解されていない。(江戸時代の学習で井沢弥惣兵衛の鴻沼干拓で与野を取り上げているが、時間的に少ないのであろう。)以上のことから、本単元の明治時代で今まであまり触れられてこなかった与野・さいたま市の歴史を扱うことは必然と考える。生徒の知的好奇心も高く、Q6からもこの時代の学習が好きで、取り組みやすいということもあり、前向きで深まりのある学習が展開できると確信している。Q7からもわかるように、小学校での学習で断片的ではあるが、明治に起きた出来事・人物について知っている生徒も多い。中学校では加えて、歴史的背景や因果関係を考えるなど、時代の特徴を捉えさせることを目標にする。さらに郷土の史料を題材として扱うことで、広い視野から明治時代を捉えさせたい。その中で、疑問や深く追求してみたい内容を個々の能力に応じて発見させ、それを自分の課題として設定し、班ごとに調査研究し、整理し発表するといった展開でこの単元を構成し、社会科にとって必要な『疑問を持ち』『調べ』『整理し』『発表する』といった力を育てていくための学習をしていこうと考えた。

また、今回の探求学習の中に、文献で調べるとともに、そこから出てきた疑問を訪問調査により解決していく、という方法を用いた。実際に訪れ、地域のお年寄りの方々などの生の声を聞くことで、生徒にとって印象に残り、深みのある学習が展開できると考えている。その中で調べ学習や聞き取り調査を行ううえでの基礎・基本を再確認し、技能の向上に努める。

4 単元について

(1)単元観

本単元は、学習指導要領の内容(5)のイ『明治維新の経緯のあらましと、新政府の諸改革とそれに伴う人々の生活の変化』ウ『我が国の近代化による国際的地位の向上と大陸との関係』の理解をねらいとして位置付けられるものである。ここで取り扱う時代は、江戸幕府が崩壊し、明治新政府が近代国家の仲間入りを早く果たそうと、急速な諸改革によって国力の充実を図っていった時代である。ペリー来航が我が国の独立に関する危機意識を生み、これに対応できる強力な新政府樹立の必要性を人々に認識させることになった。こうした内外の緊迫した情勢が中央集権国家形成へと後押しし、明治維新が比較的短期間に達成されたのである。新政府は欧米列強に追いつけるよう、国家的発展を図るため、富国強兵・殖産興業の旗印のもとに次々と近代化の諸政策を実施し、西洋文明の導入を積極的に推進した結果でもある。しかし、急速な改革がゆえに数々の矛盾を生み、民衆の反発が政府に向

けられることもあった。それは西南戦争等、そして言論による自由民権運動へとつながる。そして、民衆のエネルギーの高まりに懸念を抱き、また、憲法・議会を持つことが欧米諸国と対等な強国になりうると判断した政府は、国会を開くことを約束した。民主主義の第一歩が始まった時代でもあった。

本単元では、明治政府樹立から大日本帝国憲法制定により近代国家の仲間入りを果たしたこの時期を国際情勢や国内体制の両面から広い視野でとらえさせる。その中で、長い年月を費やして徐々に近代化を進めた欧米諸国とは異なった日本近代化の特殊性やそのひずみにも気付かせる。また、学習指導要領の内容(1)のイ『身近な地域の歴史を調べる活動』を取り入れ、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄との関わりの中で我が国の歴史を理解させることもこの単元に盛り込んだ。私達の郷土、埼玉県・さいたま市の明治期の歴史に注目させ、郷土の先人たちの偉業・暮らしぶりを知ることで、郷土に関心と誇りを持たせる。明治という大きな転換期であるこの時代をしっかりと生徒に理解させ、歴史学習をさらに深まりのあるものになりたいと考えている。

(2)生徒観

本学級の生徒は、発言も活発で、積極的に授業に取り組んでいる。中学校生活も半分すぎた2学期始めに行ったレディネス調査(アンケート)では、社会科が好きな生徒(少し好きも含む)が全体の57%に達し、それが現在の授業にも現れ、楽しい雰囲気の中で授業が展開できている。それは、小学校・中1の学習で、生徒自ら主体的に活動できる調べ学習・発表学習を取り入れ、生徒が自分で発見する喜び、わかる喜びを数多く体験した事が、社会科が好きになる要因になっていると考えられる。その反面、「社会は覚えることが多い」、「内容が難しくついていけない」と思っている生徒も4割程いるのも事実である。毎日、彼等に何とかして興味・関心を持たせ、社会科アレルギーを克服する「自信」という薬を植え付けている。全体的には、大変楽しいクラスであり、雰囲気は明るく、お互いを思いやる心が育ってきている。そこで班学習を取り入れ、班で設定した課題を解決するため、手分けして情報を収集したり、分かったことを教え合ったりする活動を通し、知的レベルの高い生徒の活動を活発にするとともに、社会科が苦手な生徒が授業中に少しずつでも活動できる場面を設定する。そして、個々に役割を与え目的意識をはっきりと持たせ、自力でやり抜く力、やれば出来るんだという自信を育てていく。

5 単元の指導計画

(1)指導目標

明治維新のあらましを諸改革の内容を通して理解させ、短期間に近代国家の基礎を整えていった政府や人々の努力、生活の変化について多面的・多角的にとらえさせる。

行政文書や風刺画、歴史事象にまつわる内容の自作ビデオなど資料を多く用い、資料になじませ、資料から明治維新の政策の特色・人々の思いを考えさせる。

郷土の偉人・史跡史料を積極的に取り上げ、歴史を身近に感じさせるとともに、郷土の先人たちが歩んできた軌跡をたどり、後の時代・私達の生活に与えた影響に気付かせる。

学習の課題にむけて、様々な手段を使って、適切な資料を収集・選択・活用して解決に導き、さらに自分達の意見をしっかりと相手に伝えることができる。

(2)評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
調べ学習や発表学習、課題解決学習などの多	新政府の諸政策・自由民権運動や憲法制定	明治維新以降の、政府や民衆の動き・対外関係	新政府の諸改革の内容や意図を理解し、知

<p>様な活動を通し、明治初期の出来事・郷土の歴史について、意欲的に学習しようとする態度を身に付けている。</p>	<p>について、政府側と民衆側から考察し、公平に判断している。秩父事件では、様々な人々の立場にたって物事を考えることができる。</p>	<p>や文化に関して、図版・史料・年表・歴史地図などの様々な資料を活用し、追求した結果をまとめ、説明できる。</p>	<p>識を身に付けるとともに、明治時代の埼玉県やさいたま市の歴史を理解する。</p>
---	---	--	--

(3)単元の指導計画(11時間扱い ...明治維新6時間+身近な地域の歴史5時間)

時	学習活動・学習内容	評価規準
1	<p>明治マップづくりと課題作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に身近な地域の「明治時代に関する建物、明治にまつわる史跡」を調べ、地図中に記入してくる。 ・班で話し合い、1枚のマップをつくる。 ・クラス全体で話し合い、模造紙大のマップにする。 ・マップをつくる過程で、出てきた疑問、調べてみたいことをクラス全体で出し合い、明治時代を学習する上での課題をつくる。 	<p>身近にある「明治時代に関する建物、明治にまつわる史跡」に興味を持ち、積極的に調べようとしている。(興味・意欲)</p> <p>話し合いを班で活発化させ、論理的な答えを導くことができる。(意欲・理解)</p> <p>適切な課題が設定できる。(思考)</p>
2	<p>新政府の政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新政府はどんな政治をめざしたのか。」を考える。様々な資料をもとに、新政府が行った富国強兵政策の趣旨を政府の立場から理解し、また、民衆に及ぼした影響について考える。 ・支配のしくみ、身分制度、税制、兵制、教育政策など、江戸時代と比較して、「なぜ改革が必要なのか」その理由を論理的に考える。 	<p>新政府のねらいについて、積極的に班で話し合い、論理的な答えを導くことができる。(意欲・理解)</p> <p>廃藩置県・地券・徴兵告諭などの資料に興味を持ち、その内容を理解することができる。(資料活用・理解)</p>
3	<p>近代的な国際関係と文明開化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩倉使節団、征韓論など様々な資料から、新政府が当初めざした外交政策について考える。朝鮮問題では、朝鮮の開国をめくり、政府内で対立があったこと、後の政治に多大な影響を及ぼしたことを理解する。 ・新政府が領土の画定に関して、欧米諸国やアジア諸国に対して行った外交政策を理解する。 ・明治村の自作ビデオなど、文明開化に関わる様々な資料から、江戸時代の生活との違いを班で話し合い、まとめる。 	<p>領土の画定について、地図上にその範囲をまとめたり、各国と結んだ条約の内容などを説明できる。(技能・表現)</p> <p>複数の国の立場から新政府の外交について多面的に考えることができる。(思考・判断)</p> <p>欧米文化の流入によって人々の生活が大きく変化したことを理解し、説明できる。(理解・表現)</p>
4	<p>郷土の偉人から殖産興業を考える</p> <p style="text-align: center;">地域学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋沢栄一、尾高惇忠の業績をたどり、郷土埼玉県出身者が政府の殖産興業政策に果たした役割を考える。 ・富岡製糸場の様子を理解し、官営工場が果たした役割、 	<p>郷土の偉人、渋沢・尾高が果たした役割について考えを深めることができたか。(思考)</p> <p>富岡製糸場建設の必然性・果たした役割を理解し、その知識を身に</p>

	<p>後の時代への影響を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政府が力を入れ進めていった殖産興業の目的を考え、現在の生活との関わりに気付く。 <本時の展開有り> 	<p>付けている。 (知識・理解)</p> <p>殖産興業のための政府の政策を調べ、まとめている。(関心・意欲)</p>
5	<p>自由民権運動と立憲国家の成立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自由民権運動期の自由民権側と政府側の主張を理解する。 ・ 憲法に関する様々な資料から、大日本帝国憲法の特徴を班で話し合い、発表する。さらに当時の国民がこの憲法をどう受け止めたか、理解する。 ・ 政党の結成、憲法制定、議会政治の始まりといった流れを理解し、立憲国家の成立過程をとらえる。 	<p>自由民権運動のおこりとその広がり、因果関係や政府の対応を中心に理解できる。(知識・理解)</p> <p>話し合いに積極的に参加し、大日本帝国憲法の特徴をとらえることができる (意欲・理解)</p> <p>政党の結成や憲法制定の過程、選挙制度について資料からまとめ、説明できる。(資料活用・表現)</p>
6	<p>秩父事件(農民の視点)から考える 地域学習</p> <p>～当時の農民の生活と秩父の人々が要求したことは～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秩父事件、自由民権運動が後の世に与えた影響について考え、理解する。 ・ 自由党员、貧しい農民、政府の高官など、様々な人々の立場にたつて、秩父事件を考える。 <p><本時の展開有り></p>	<p>秩父事件を扱った紙芝居・ビデオなどの教材に興味を持ち、内容を理解できる。(資料活用・理解)</p> <p>弾圧されながらも、民衆の底力が歴史を一步前進させ、今の私たちの生活に深く関わっていることに気付く。(知識・理解)</p>
7	<p>明治時代の与野 調べ学習</p> <p>～学習課題・仮説の設定と発表資料の作成～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各班で6つの学習内容に対する課題、その仮説を作成する。クラス全員で課題を共有化する。 ・ 他の班が作った課題を踏まえながら、自分たちの学習内容に関する課題を設定し、調べる。 ・ 各班ごとに収集した資料を選択し、それをもとに課題解決を図るとともに、発表の内容構成を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間が少ないので、計画的に作業をするよう指示する。 <p>班で活発な話し合いが行われ、課題を作ることができる。</p> <p>(意欲・思考・表現)</p> <p>班で協力してスムーズに発表のための作業をすることができる。</p> <p>(意欲・態度)</p>
8	<p>明治時代の与野 調べ学習 ～発表資料の作成～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各班ごとに収集した資料を選択し、それをもとに課題解決を図り、発表のための作業を行う。 ・ 選択した資料の図表化を行い、ポイントとなる内容をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各班ごとにまとめ方を工夫し、発表にオリジナリティーをださせるように心がける。 <p>聞き手の立場にたった表現方法が考えられる。(表現・思考)</p>
9	<p>明治時代の与野 調べ学習 発表資料の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各班ごとに収集した資料を選択し、それをもとに課題解決を図るとともに、発表のための作業を行う。 ・ 発表のリハーサルを行い、班の中で発表に関する意見を交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各班のリハーサルの中で、改善すべき点をアドバイスし、より良い発表が出来るようにさせる。 <p>聞き手の立場にたった表現方法が考えられる。(表現・思考)</p>
10	<p>明治時代の与野 ポスターセッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオから明治時代の様子をつかむ。 ・ 6つのブースに分かれ、各班の代表者がプレゼンター 	<p>様々な立場の人の視点で物を考えながら、多面的に明治時代の特徴が理解できる。(思考・理解)</p>

時	<p>ションを行う。(テーマ)「与野の文明開化を考える～人々の生活はどんなものだったのか～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回のプレゼンを12分とし、それを3回行う。 	<p>学び合う姿勢をしっかりと身に付け有意義な学習ができる。</p> <p>(思考・判断)</p>
11	<p>明治時代の与野 ポスターセッション 及びまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の続きで、2回のプレゼンテーションを行う。 ・今までの6つのテーマから「明治になって与野の人々の生活にどのような変化があったのか、なかったのか」を考え、ワークシートにまとめる。 ・大正、昭和の与野を予想し、大正時代祭りのビデオや教師の話で与野の移り変わりを追う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6つのブースの発表をもとに明治時代の与野の人々の生活の変化について考えることで、歴史的思考力や判断力を養う。 明治時代の与野の人々の立場になり、物事が考えられる(思考・判断) ・次に学習する大正、昭和の通史の動機付けとする。

6 本時の学習

(1)本時のねらい

殖産興業に関わった、渋沢と尾高という郷土埼玉県の偉人の業績を理解する。

富岡製糸場について詳しく知るとともに、製糸工業発展の基礎を築いたなど、富岡製糸場が果たした役割を考える。

発表者・聞き手ともに自分の役割を自覚し、積極的に学習に参加する。

(2)展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 評価	資料
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習をクイズで行う。 ・埼玉郷土カルタを示し、渋沢栄一が埼玉県出身の人物であることを知る。 ・写真で深谷駅を紹介し、煉瓦づくりの意味を知る。 ・地図で深谷の位置を確認する。 ・本時の学習テーマを確認する。 ・学習内容の7つのキーワードをおさえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・答え合わせは生徒が行う。 ・郷土カルタや深谷駅の写真から郷土の偉人に関心を高めさせ、本時の学習にスムーズに入っていけよう、視覚に訴える。 	<p>埼玉県の掛け地図</p> <p>郷土カルタ</p> <p>深谷駅の写真</p>
展 開	<p>『郷土の殖産興業を考える！』</p> <p>～ 郷土の偉人、渋沢栄一・尾高惇忠が果たした役割とは？ ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾高惇忠、渋沢栄一が登場し、それぞれ自分の業績を述べる。(ロールプレイ)*生徒が役を演じる ・ビデオで尾高、渋沢の生家を見る。渋沢の声を聞く。 <p>尾高・・渋沢の師匠、妹と渋沢が結婚、渋沢と二人で藍玉を売る。富岡製糸場初代工場長。娘のゆいが富岡製糸場工女第1号。</p> <p>渋沢・・日本煉瓦工場他、何百もの会社の設立。富岡製糸場の設立にも尽力。晩年は、文化福祉活動に積極的。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞き、発表後わかったことをワークシートに 	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚機器は教師が扱う。 ・聞き手の生徒は、発表者の目を見て集中して話を聞き、終わった後にワークシートにまとめさせる。 ・渋沢、尾高の業績を様々な事実から理解し、人物像をふくらませられるよう発表内容に工夫をさせる。 発表を聞き、わかったこと 	<p>発表原稿</p> <p>自作ビデオ</p> <p>渋沢の声</p> <p>ワークシート</p>

<p>まとめる。</p> <p>・ 渋沢と尾高の二人に対し質疑応答を行う。</p> <p>二人が関わった、富岡製糸場にスポットをあてる。</p> <p>・ 地図で富岡、妙義山の位置を確認する。</p> <p>・ 富岡製糸場の全体図（昔と今）を比較し、わかったことを発表する。</p> <p>・ 操糸場の絵を見て、気づいたことを発表する。 お雇い外国人、工女、機械、など</p> <p>・ 製糸場の動力「ブリューナエンジンを紹介」</p> <p>・ 「富岡製糸場設立に関わる苦勞」についての劇を生徒の代表が行う。 劇を見て理解を深める。</p> <p><登場人物> 渋沢、尾高、ブリューナ、地元の人</p> <p>・ わかったことをワークシートにまとめ、さらに富岡製糸場に対する疑問を書く。</p> <p>・ その間にまゆ、生糸を実際に手にとって実感する。</p> <p>・ 片倉シルク記念館（旧片倉製糸熊谷工場）を紹介。</p> <p>・ 聞き手の生徒が質問をし、それに富岡博士が答える。</p> <p>・ 富岡製糸場についてわかったことをまとめる。</p> <p>ま と め</p> <p>・ 自作年表、他の工業の分布図からわかったことを書く。 「富岡から全国へ」</p> <p>・ 現代に生きる私たちが渋沢、尾高二人の業績をどのように評価するのか考え、ワークシートに書く。</p> <p>・ 考えたことを発表し、クラス全体で深め合う。</p>	<p>を自分の言葉でまとめ、さらに学習を深めるための疑問を持つことができたか。（理解・技能）</p> <p>・ 現在も当時のままの姿で保存されており、大事な歴史的遺産であることを知る。</p> <p>・ 当時の富岡製糸場の様子をつかませ、設立には苦勞があったことをわからせる。</p> <p>・ 熊谷の片倉シルク記念館(旧片倉製糸熊谷工場)でいただいたことを話し、興味を持たせる。</p> <p>・ 質疑応答が活発になるよう、支援する。</p> <p>・ 富岡で技術を習得した女工達が各地の工場で活躍したことを知る。</p> <p>・ 与野にも明治後期には3つの製糸工場が出来ていたことを確認する。</p> <p>郷土の偉人、渋沢・尾高が果たした役割について考えを深められたか。（思考）</p>	<p>北 関 東 の 地 図 富 岡 製 糸 場 の 今 と 昔 の 写 真 劇 の シ ナ リ オ ま ゆ 、 生 糸 明 治 期 の 与 野 の 製 糸 場 写 真 自 作 年 表 教 科 書 P142 の 図</p>
---	---	---

(3) 訪問先及び資料の入手先

富岡製糸場、深谷駅、渋沢栄一記念館、渋沢栄一生家、尾高惇忠生家、豊明公民館（深谷）
片倉シルク記念館、日本煉瓦製造会社跡地、中瀬河岸（川田家）など

7 第6時の学習

(1) 第6時のねらい

秩父事件・自由民権運動が後の世に与えた影響について考え、理解する。

自由党员、貧しい農民、政府の高官など、様々な人々の立場にたって、秩父事件を考えられる。

発表者・聞き手ともに自分の役割を自覚し、積極的に学習に参加する。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	指導上の留意点 評価	資料
導入	・ 郷土カルタ（困民党）を用い、小学校での学習を復習する。	・ 秩父がさいたま市から近いことを知り、身近な所で大	郷土カルタ

8 第10時の学習

(1)第10時のねらい

明治維新で様々な新政策・生活の変化のもと、広い視点で物事を考えながら、多面的に明治時代の与野の人々の生活の様子を理解していく。

プレゼンテーションの中で、教える側・学ぶ側のそれぞれの目的をしっかりと持たせ、生徒同士の「学び合い」の姿勢を育てる。

(2)展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 評価	資料
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・第1時に作った明治マップの復習をする。 ・明治時代はどんな時代か？ 身近な地域（与野東中付近）にある明治時代の建造物・明治時代に関するもの、をビデオを観て当時の様子をつかむ。 ～鉄道大宮工場・松本家・高台橋 など～ ・スライドで明治時代の与野の様子を見る。 ・本時の学習の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習にスムーズに入っているよう、視覚的に訴える。意欲を持って授業に取り組もうという姿勢があるか。 ・与野東中周辺の大きな地図を使用し、それぞれの位置を確認する。 	明治マップ ビデオ （教師作成） スライド
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>『与野の文明開化！』 ～ 私達の先輩、与野の人々の生活を通して江戸時代との変化を考えよう！～</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・6つのブースに分かれ、各班の代表者がプレゼンテーションを行う。 ・プレゼンターを各班2名とし、残りの班員は自分の班以外の説明を聞く。 <p>6つのブースの予想される課題例</p> <p>埼玉県成り立ち「どのように現在の埼玉県、与野が形づくられて行ったのか？」</p> <p>与野の人々の暮らし ～ 商家 松本家を訪ねて～</p> <p>「明治の与野の商家の人々はどんな暮らしをしていたの？」「今の私達の暮らしと共通点、相違点はなに？」</p> <p>与野の人々の暮らし ～ 農家 武井家を訪ねて～</p> <p>「明治の与野の農家の人々はどんな暮らしをしていたの？」「徴兵令、地租改正でどう変わったの？」</p> <p>与野本町通りの移り変わり ～ 当時の通りを偲ぶ～</p> <p>「明治時代の本町通りはどんな様子だったのか？」</p> <p>「当時の面影を残すものは？」</p> <p>学制「与野の小学校の様子は？」 「当時の小学生はどんなことを学んでいたの？」</p> <p>さいたま市・与野の殖産興業</p> <p>「さいたま市（与野）ではどんな産業が行われてい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進行、計時は教師が行う。 ・各ブースはこまかくまわり、特に質疑応答が活発になるようにする。上手いかないブースを支援する。 ・1つのブースは5人を目安として、多くならないように調整する。少ない人数で一人ひとりが主体的に学習に取り組めるようにする。 ・プレゼンターに、時間内で課題解決に迫る内容の濃い説明が出来るよう事前指導しておく。 ・聞き手の生徒はプレゼンの際、発表者の目を見て集中して話を聞き、終わった後にワークシートにまとめる。友達の説明を聞き、重要な箇所を自分の言葉でまとめる 	ワークシート 模造紙 紙芝居 ホワイトボードなど 各班作成のもの 発表原稿 県令パネル 時計 柱 地券 小学校の教科書

展 開	たの?」「工業は盛んだったの?」	ことができる。(思考・表現) ・質疑応答で、答えられない 質問は、新しい課題として、 次までに班で調べてこさせる ・残りの3回のプレゼンは次 回にまわす 様々な視点で明治期の与野、 の様子に触れ、考えることで、 多面的に明治時代の特徴が 理解できる。(思考・理解) ・変化が大きいのか、小さい のか今の時点で考える。次 時にまとめる。 自分たちの足でかせいでき た資料を活用し、郷土の歴史 について理解を深める。 (資料活用・理解)	めんこ など ワーク シート
	<ul style="list-style-type: none"> ・1回のプレゼンテーションは、12分とする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>説明をうける 5分 わかったことをまとめる 3分 質疑応答 2分 移動 2分</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・同様にあと2回のプレゼンテーションを行う。 		
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・3つのブースの説明を聞いて、与野の人々の生活・様子から「明治時代になり、与野の人々の生活の変化は?」を考える。 ・生徒制作の年表(通史、与野)を見て本日の発表がどの辺りを扱っているのか、確認する。 ・本日の発表で良かった班とその理由を書く。 		ワーク シート 自作年 表

(3)訪問先及び資料の入手先

県立文書館、県立歴史と民族の博物館、さいたま市立博物館、与野郷土資料館、与野本町(松本家、井澤家、新井家、丸家、加藤家など)、長伝寺、与野本町小学校、農家金子家、片倉シルク記念館、文化財保護課 など

<資料>

郷土の殖産興業

日本煉瓦工場跡



渋沢栄一一家



片倉シルク記念館



富岡製糸場



蚕

秩父事件

棕神社



秩父郡役所跡



音楽寺の鐘

困民党軍はこの鐘を
ならしながら秩父

市内に入っていった

与野 松本家



大木製糸香工場跡

